



2026 年 7 月 21 日

各位

会社名 株式会社三機サービス
代表者名 代表取締役社長 北越 達男
(コード番号 6044、東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役
経営管理本部長 川崎 理
(TEL079-289-4411)

**タブレット受付アプリ導入拡大、Salesforce 及びエンジニア向けデジタルツールの
新規導入などにより、DX 推進による収益性向上の実現を図ります**
～AI の活用を推進するため、全従業員向け研修を積極的に開催～

業務用空調設備のメンテナンス、入替工事などを全国展開する株式会社三機サービス（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：北越達男、以下「当社」）は、2025 年 7 月に開示した「中期経営計画 2026-2028【人の三機】（以下「中期経営計画」）」において、最重要戦略である「人財育成・教育の強化」に加え、重要戦略として「DX 推進による収益性向上」を掲げています。中期経営計画の 1 年目にあたる 2026 年 5 月期において、「DX 推進による収益性向上」を図るため、様々なデジタルツールの導入、活用拡大などに取り組みましたので一例をご報告いたします。

DX 施策	進捗状況
受付アプリ	828 店舗（2026 年 5 月末時点）
営業支援システム	新規導入
工事管理ツール	新規導入
ウェアラブルカメラ・映像クラウドサービス	新規導入
AI 活用研修	役員向け、従業員向け（4 回）

受付アプリは、従来お電話などで受け付けているメンテナンスなどのお客様からの依頼を、タブレット・スマートフォン端末のアプリケーションで受け付けるものです。

導入店舗数は 2025 年 6 月から約 1.6 倍に増加し、2026 年 5 月末時点で 828 店舗※になっています。また、営業支援システムである「Salesforce」を活用し、顧客情報や案件情報の管理を行うことで、中期経営計画の重要戦略である「提案営業力の高度化」「ストック型収益率の向上」などに寄与します。

メンテナンスや工事を担うエンジニア向けデジタルツールとして、工事管理ツールや作業の様子を録画できるウェアラブルカメラ・映像クラウドサービスを活用します。

さらに経営の効率化を図る経営管理システムの導入、活用を実施しています。

デジタルツールの導入・活用拡大に加え、AIの活用を推進するため、役員向けの研修や従業員向け研修を積極的に開催（合計4回開催）し、AI活用を含めたDX人材育成の推進も行っています。

当社は、『空間インフラのもっと快適・ずっと安心を提供すること』をビジョンに掲げ、業務用空調設備のメンテナンスを中心に、設計・施工・保守管理も手掛け、一気通貫なサービスをお客様に提供しております。今後も、中期経営計画に掲げた人材育成やDX活用などの施策を推進し、収益性の向上と事業拡大を図ります。

※タブレット受付アプリ及びWEB受付アカウントの合計数

中期経営計画 2026-2028【人の三機】：

<https://www.sanki-s.co.jp/company/midium-term-plan/>

詳細につきまして、取材をご希望のメディア様は下記までご連絡ください。

株式会社三機サービス 経営企画部（E-mail：s.keiki@sanki-sv.com）

以上